

BCP 対策はできていますか？

クラウドサービスを活用した対策方法とは…

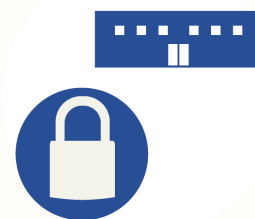
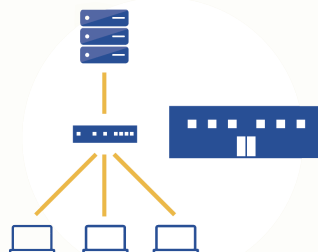
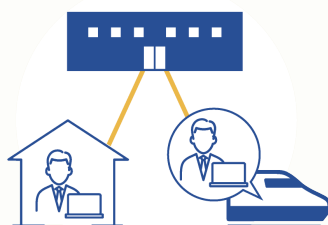
今回は、災害から会社を守る BCP 対策の一環としてクラウドサービスを利用した対策方法をご紹介します。

BCP とは事業継続計画（Business Continuity Plan）のことで、大規模災害などの非常事態が起きた時に、企業が業務を継続できるようにするための計画のことです。

BCP 対策が行われていないことで、災害などの有事の際に早急な対応ができず、事業継続が困難になり最悪の場合倒産に追い込まれる 事や、自社の業務が停止することにより、取引先からの信用失墜につながります。具体的には、基幹システムなどの情報システムを保有する企業にとって、販売や生産に関連するデータの損失は事業を継続するうえで 極めて大きなダメージとなります。

今後も首都直下型地震や南海トラフ地震などが予測されているなか、有事の際でも事業を継続できる体制を築くことが求められています。

BCP 対策の一環として既に多くの企業がクラウドサービスを利用しています。それには大きく 4 つの理由があると考えられます。



① データ消失のリスクを低減 ② リモートワークに対応 ③ 低コストで導入ができる ④ 強固なセキュリティ対策

災害に強い構造のデータセンターにサーバーが設置されているため、データを守ることができる。

インターネット環境を利用して有事の際も業務システムを使用して仕事を続けることができる。

自社の利用状況に応じて、コストを抑えて利用ができる。

セキュリティ対策ツールが用意されているため、情報漏洩を防ぐことができる。

上記理由からもクラウドサービスの利用は、BCP 対策の一環として効果的だといえます。ですが、中には社内に詳しい担当者が不在などの理由からクラウドサービスの利用に踏み切れていない企業もあります。

そこで弊社がご紹介するのは、

お客様に寄り添ったクラウドサービス BizGr@nd(ビズグラウンド) です。

AWS や GCP などのパブリッククラウドサービスと異なり、お客様のご利用用途にあわせて仮想マシンのサイジングからネットワーク構築に至る IT インフラ 全体をトータルサポートいたします。クラウドサービスの利用に踏み切れていない企業様も安心して BizGr@nd をご利用いただけます。例えば、バックアップとして小規模からクラウドサーバーを使用する場合や、オンプレミスで稼働中のサーバーを丸ごとクラウドサーバーに移行する場合についても、弊社の豊富な導入実績から最適なお提案をいたします。クラウドサーバーを構成する物理サーバーは冗長化されておりますので、故障による停止リスクが低減され安心してご利用いただけます。

クラウドサービスの活用や BizGr@nd にご興味を持っていただけましたら、以下の WEB サイトにてサービス情報や無料トライアルをご用意しております。ご参照ください。

BizGr@nd
ビズグラウンド

パフォーマンス確保型クラウドサーバー

<https://www.dsk-idc.jp>